THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
JAPAN EAST REGION
2017-2018

BULLETIN

国　際　会　長　「国境なき友情」“Friendship across the borders ”
アジア地域会長　「ワイズ運動を尊重しよう」“Respect Y's Movement”
東日本区理事　「広げよう ワイズの仲間」“Extension Membership & Conservation”

2017．7．1 発行　第１号通巻 58 号

主　　題　『広げよう ワイズの仲間』

“Extension Membership & Conservation”

スローガン『楽しくなければワイズじゃない 積極参加で実りある奉仕』

“Joyful life through Y'sdom Service with Positive action”

東日本区理事　栗本　治郎（熱海クラブ）

東日本区は１９９７年の発足時に会員数１２４６名でスタートしましたが、毎年のように会員の減少と共に高齢化が進みました。クラブの平均会員数も１９９７年時には、約２１名でしたが現在は約１５名です。このことは日本における少子化と同じくワイズにとっての一番の問題点です。そこで、今期の理事方針を「広げよう　ワイズの仲間」とし、英語表示をズバリ「E・M・C」と致しました。会員の一人一人が会員増強の意識を強く持ち、新会員候補の発掘・推薦を心掛け、１５名以下のクラブは会員数２０名を目指し、また、部にエクステンション委員会を設置し、積極的に新クラブ設立に取り組む体制を作りたい。

基本方針

部の強化・活性化

部の活動を強化し、部長・主査が主体的に活動し部の活性化を図る。

部長のリーダーシップの下、主査は委員会を設け、一人委員会でない実効性のある、充実した部の活動を目指すと共にクラブ間交流を深める。部会・研修会の充実を図る。

YMCA との協働

ワイズメンの YMCA 会員率１００%を目指す。（クラブ単位での納入を検討）

YMCA との協力関係の中でエクステンションを検討する。

各事業の目標

１．会員増強事業

○　**部にエクステンション委員会を設置する。**（複数年で取り組む体制）

○　例会出席率の向上を目指す。（プログラムの充実）

○　クラブの会員数２０名を目指すと共に、理想的な会員数とされる３０～４０名を目標とする

２．地域奉仕事業

○ 地域における知名度を高めるＣＳ事業を推進し、「入会したいクラブ」を目指す。

○ 所属 YMCA との相互理解と協働プログラムを推進する。

３．国際・交流事業

○ IBC・DBC の交流を推進する。

○ 各献金の目標を達成する。

４．ユース事業

○ 次世代のワイズと YMCA を担う若者を育成する。

５．メネット事業

○ メネット活動の活性化を推進する。

2017-2018 年度東日本区の達成目標

担当	事業	2017-2018 年度達成目標
地域奉仕	ＣＳ	１，２５０円／人以上
	ＡＳＦ	５００円／人以上
	ＦＦ	５００円／人以上
国際・交流	ＢＦ	２，０００円／人以上
	ＴＯＦ	１，３００円／人以上
	ＥＦ	記念献金
	ＲＢＭ	８００円／人以上
	ＹＥＳ	５００円／人以上
	ＩＢＣ	３クラブ締結　トライアングル２組
	ＤＢＣ	２クラブ締結
会員増強	新クラブ設立（E）	２クラブ
	会員増強（M）	１２０名
ＪＥＦ(東日本区ワイズ基金)		５００，０００円
ＬＴ(リーダーシップトレーニング)		次期部長・事業主任研修会
		次期クラブ会長・部役員研修会
		各部における部内研修会　適宜
区　　報		２回発行

Let us all Walk in the Light -Together

It is with great pleasure I send my greetings to the installation of Y's Men **Mr.Jiro Kurimoto.**
when he takes over the position **as RD 2017/2018 in Japan East Region.**
I congratulate him and send him my best wishes.
It is crucial that we are visible in our local community, and that we take
care of and include the new members who come to join the Y's Men movement.
I am certain that **Mr.Jiro Kurimoto** will have focus on this important subject during his term as Regional Director. I am also happy to learn that you are planning to establish an extension committee in your region.
I wish you all the best for the future, and I hope you will be able to inspire, set up new goals, and establish and renew friendship within Y's Men on every level within your district as well as in the local community.

With best wishes and I pray that God may bless the work you shall perform.

Let us all Walk in the Light -Together, which shall be my motto for my soon starting IP term.

Henry J Grindheim
IP 2017-2018

国際会長挨拶　　ともに、光の中を歩もう

栗本治郎さんの東日本区理事の就任に際し、ご挨拶できることを大変うれしく思います。就任をお祝いし、ご多幸をお祈りします。
私たちにとって、地域のコミュニティで存在を示し、ワイズ運動に加わる新たなメンバーを大切にして仲間に加えていくことは、非常に重要なことです。私は、栗本さんが、在任中にこの重要な点に着目することと確信しています。また、東日本区において、エクステンション委員会を設置することを予定していると知り嬉しく思っています。

私は、皆様の将来のご多幸をお祈りするとともに、理事が、皆を奮起させ、新たな目標を掲げ、地域のコミュニティ内ばかりでなく、東日本区内のクラブや部を超えすべてのレベルで、ワイズメンバー同士がお互いに旧交を温めたり、新しい友好関係を築いたりすることができるように期待しております。
皆様の活動に神のご加護がありますよう、お祈りいたします。
「ともに、光の中を歩もう」これが、国際会長としての私の主題です。

2017-2018 年度国際会長
ヘンリー・J・グリンハイム

Message from Asia Pacific Area President

Dear RD Jiro Kurimoto-san:

Congratulations, Mr. Jiro Kurimoto-san, for your takeover of the Japan East Regional Director position. I believe under your positive and reliable leadership, Y's Men International Japan East Region will continue to develop and become stronger with fruitful achievement.

I will serve as AP for the year 2016-18. I chose my Theme as "Respect the Y's movement." In the beginning when Judge Paul William Alexander founded the Y's Club, he defined the Y's Man as a service club and it was one of the characteristics that we adhere to within YMCA.

My slogan is "Solidify the Y's Family for the Better World." When you join the Y's Men's club, you learn about family, friendship and responsibility. True learning occurs when you assimilate and apply the extra responsibility you have, resulting in a qualitative change in your behavior; and a feeling of hope and enthusiasm is found for a new vision of your life.

During my second-year term, I emphasize the most priority on the membership conservation and extension. Second, I encourage your Region and all clubs to do more community services. I will ask your Region to support international projects like RBM, TOF, ASF, etc.

Once again, I wish the Japan East Region, under your leadership, will have a great success.

Y'sly and sincerely,
AP Tung-Ming Hsiao

アジア太平洋地域会長挨拶

親愛なる栗本治郎　理事様

東日本区理事へのご就任おめでとうございます。あなたの積極的でかつ信頼の置けるリーダーシップのもと、ワイズメンズクラブ国際協会東日本区は発展を続け、意義ある成果をもってより強化されると信じます。　私は 2016-18 年度のアジア太平洋地域会長として奉仕をします。私の主題は「ワイズ運動を尊重しよう」です。ポール・ウィリアム・アレキサンダー判事がワイズメンズクラブを創設した当初に、ワイズメンは奉仕を目的としたクラブであると定義し、YMCA に奉仕することが特徴のひとつとなっています。

私のスローガンは、「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」です。ワイズメンズクラブのメンバーになると、家族、友情、責任について、学びます。吸収したことをより大きな責任を果たすときに応用し、行動が質的変容を遂げ、人生に新しい展望が開けるような希望と熱意を持ったときが本当の学びとなります。

私の 2 期目となる今期は、会員増強とクラブ拡大を最重要課題といたします。2 つめは区と全てのクラブがより多くの地域奉仕事業をするように奨励してまいります。また東日本区には RBM(ロールバックマラリア)、TOF(断食の時)、ASF(アレキサンダー・スカラシップ・ファンド)など国際事業へのご支援をお願いいたします。　栗本理事のリーダーシップのもと、東日本区が大きな成功を収めることを再度お祈りしております。

ワイズリー
アジア太平洋地域会長
タン・ミン・シャオ

すこやか、しあわせ、　ワイズとともに！

西日本区次期理事
大野勉（神戸ポート）

2010 年夏の横浜国際大会において、「折りづるランナー」大野ベンを温かく迎えてくださった東日本区ワイズメンのみなさま、また、道中応援してくださったみなさま、本当にお世話になりました。

あの日以来、区を超えて、ワイズメンの素晴らしさを心身全面で体感しております。

今期は、西日本区理事として、私の取り柄である「健康、元気さ」を多くの方々にお届けいたしたく、より活発にワイズダムへの働きに邁進いたします。 2017-2018 年度西日本区理事方針を主題:「2022 年に向けて、心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」”Healthy mind & healthy body make healthy club”副題：「今あるクラブを充実させ、将来のクラブへ宝（財産）を伝承していこう」と掲げました。

ワイズ 100 周年の 2022 年を見据え、「ワイズ」という宝物を明日の社会に伝承していくワイズ運動を高めていきたいのです。また、地域活動を地域の人々と共に行い、ワイズの認知度を高め、ワイズ理解を広めたいのです。さらに、若い力を吹き込むことで、さらなる活性化を図りたいのです。一人の力では遅々として進みません。東西日本区のワイズの知力、体力を結集して、日本全体のワイズ運動を高めていきたいのです。

思いは強くても、行動が鈍ければ前へ進めません。強い思いを持ち続け、心に体にモーターをしかけ、一歩でも前へ進んでいきたいものです。そのためにも、普段からのトレーニング＝頭でとにかく考えること、体を動かすこと（走ること）を大切にします。また、自分の特長を生かせるように、すてきなワイズのみなさんと協力をして、笑顔を大切にします。

2018 年 6 月 9-10 日の第 21 回西日本区大会は、神戸にて、テーマ：「すこやか、しあわせ、ワイズとともに」の元に開催されます。ぜひ、お出かけください。みなさんとお会いできることを楽しみにしつつ、１年間がんばってまいります。

あらたな YMCA に向けて

日本 YMCA 同盟総主事
神﨑 清一

本年 4 月より、京都の YMCA より日本 YMCA 同盟総主事として着任いたしました。これまで同様よろしくお願いいたします。ワイズメンズクラブの皆さまには、日頃より喜びと誇りを持って YMCA に関わってくださり、お支えいただいていますことに心より感謝いたします。全国の YMCA では現在、「互いを認め合い、高め合う『ポジティブネット』のある豊かな社会を創る」ことを目指して、ブランディングに取り組んでいます。また、私たち YMCA は社会への約束として、「したい何かがみつかり、誰かとつながる。私がよくなる、かけがえのない場所」となることを宣言しています。その中にあって、ワイズメンの皆さんは、YMCA で、ワイズメンズクラブの例会をはじめとした交わりや奉仕活動で、まさにしたい何かを見つけ、大切な誰かと、また何かとつながることに喜びを見つけられた方々ではないかと思います。素晴らしいロールモデルです。「心を開き、わかち合う、前向きで、まわりを惹きつける魅力をもつ」YMCA、ワイズメンズクラブであり、さらにはそのように生きる者でありたいと、自分自身を戒め奮い立たせるものであります。ワイズメンズクラブ東日本区は、利根川理事から栗本理事へとバトンが渡され、新たな歩みがスタートしました。これまで大切にしてこられたことを継承しつつ、新たな一歩を踏み出されたキャビネットの皆さん、各クラブにつながるお一人おひとりの思いと熱意を結集して、より活動が広がっていきますようにと願っております。宗教や文化、言語や習慣、性別や年齢、職業や地位、学歴や貧富の差、障がいの有無などによる差別のない平和な社会を目指して歩みを強めようとしている全国の YMCA を、どうぞ今後ともお支えくださいますようお願いいたします。皆様のこの一年のクラブライフが、ますます充実したものとなりますようにと祈念いたします。

アジア太平洋地域のこれからと東日本区

次期アジア太平洋地域会長
田中博之（東京多摩みなみ）

2018 年 7 月から 2020 年 6 月まで、アジア太平洋地域会長、同地域選出の国際議員を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。アジア太平洋地域は、2016 年 8 月に、これまでのアジア地域に南太平洋地域が合流して誕生しました。東西日本区、台湾区、南東アジア区、フィリピン区、スリランカ区そして元南太平洋地域の南太平洋区の 7 区から構成され、総メンバー数は、約 4,000 名で、これは国際協会全９地域、26,000 名の中では、インド地域、ヨーロッパ地域、韓国地域に次ぐ規模です。その中で東西日本区は、メンバー数で約 6 割を占めており、地域の中核、リーダーとしての役割が期待されています。アジア太平洋地域は、全体的にメンバー数が減少傾向にあり、スリランカ区のようにメンバー数 100 名程の小規模な区や、モンゴルのようにクラブがひとつしかない国もあり、地域の仲間としての支援が必要です。また、インドネシア、ベトナム、中国などワイズメンズクラブがまだ存在していない国も多くあり、今後、国際的なエクステンションの強化も望まれます。さらに、アジア太平洋地域は、5 月 26 日にスリランカで大洪水が発生し、50 万人が避難を強いられたように、地震、津波、台風、洪水等の自然災害が多く、ワイズ全体としての機動的な支援体制を築くことも必要です。東日本区が栗本理事のリーダーシップのもと、一層元気になること、そのエネルギーが西日本区にも伝播すること、そしてアジア太平洋地域全体、さらには国際協会全体にも広がっていくことを心から願っています。多くの方々にとってアジア太平洋地域は、地域大会以外の面ではあまり身近な存在では無いと思います。任期を通じてアジア太平洋地域内の連帯、協力体制を強め、コミュニケーションを深め、ワイズメンズクラブが国際的な組織の一員であるということとその魅力、喜びについて皆さまに実感していただけるよう努めたいと思います。どうぞよろしくご支援、ご協力をお願い申しあげます。

「トロイカ体制の一翼を担って」

直前理事
利根川恵子　（川越）

第 19 回東日本区大会で渡辺隆直前理事から理事を引継ぎ、はや 1 年が立ちました。奇しくも、東日本区設立 20 周年という節目の年に、理事を拝命し、東山荘での第 2 回東西日本区交流会や記念誌の編纂など記念行事を実施することができました。ご協力、ご支援いただいたみなさまに心から感謝を申し上げます。

一方では、会員増強など目標を達成することができずに期を終える結果となり、大変残念です。今期、栗本理事は、「拡げよう　ワイズの仲間」を主題として、会員が 15 名以下のクラブは会員数 20 名を目指すこと、部にエクステンション委員会を設置し新クラブ設立に取り組む体制を作ることを目標としてスタートなさいます。直前理事として、自分が成しえなかったことも含めて、栗本理事の目標が達成されるよう、微力ながら、トロイカ体制の一翼を担って参ります。どうぞよろしくお願いいたします。光の中を歩めるように

「次期理事として」

次期理事
宮内友弥（東京武蔵野多摩）

「広げよう　ワイズの仲間」を主題に掲げて栗本理事年度が、いよいよスタートします。次期理事の立場で、トロイカの一員として栗本理事の基本方針「部の強化・活性化、YMCA との協働」の推進に微力ながらお役に立てるようサポートすることと、併せて実践を学び次年度に備えて研鑽に努めます。飲みすぎないよう健康に留意し、楽しく前を向いて任務を全うしたいと思っています。2004 年にワイズに入会、最初の 3 年間は何時やめようかと考えていた私を、何時の間にかここまで虜にしたワイズの魅力・素晴らしさを信じています。

「フイズの幅広いネットワークを楽しみながら、よりよい未来へとつなげよう」

国際・交流事業主任
進藤重光（東京）

ワイズの皆さま、これから一年間、ご指導とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

今やワイズメンズクラブやYMCAだけではなく、私たちの社会においても国際・交流というテーマは切っても切れない関係にあります。本邦に憧れを抱いてやってくる留学生がコンビニや飲食店などで働く姿は日常風景となっていますし、日用品・食料品が国内各地からだけでなく数千キロの彼方から送られてくる時代。このようなグローバル経済の中で「地球市民」としての行動指針が必要になる一方で、文字通りの「隔ての壁」(『聖書』エフェソ書2・14）を敢えて作ろうとする動きがあることも、また現実です。この中で私たちワイズは、国境を超えた「ポジティブネット」を生かした多様性の豊かさ結び付きの喜びを楽しんで伝えながら多くの方々と共に歩んでいきたいと思います。

１．ひと月当たりで（一人分）500円以上の献金へのご協力お願いいたします（目標年間6,000円)。

BF―2,000円以上　　RBM―800円以上

TOF―1,300円以上　　YES―500円以上

※クラブから部への集計結果―2月15日までに

※部から区への集計結果― 2月29日までに

２.RBMは7月が強調月間のテーマの一つです。また、4月25日は「世界マラリアデ―」、8月20日は「世界モスキートデ―（蚊の記念日)」です。各クラブで折に触れて、国連のプロジェクトに連動し、2018年まで継続となった、このワイズの国際統一事業(UGP)の意義をお伝えください。説明用の資料は各部宛にメールでお送りいたします。

３.IBC／DBC活性化をご一緒に図って参りましょう。インターネット上のSNSや翻訳機能も活用し、お互いの写真を交換するのはどうでしょうか。

４．使用済み切手の収集――「無から有を生む」ことを目指した伝統的な事業を継続して参ります。

皆さまのご意見をお待ち申し上げております。

「ユース事業を通じて理事方針の実現を目指す」

ユース事業主任
長津徹(東京サンライズ)

前期に引き続いて本年度のユース事業の主題を「ユース事業を通じて理事方針の実現を目指す」といたしました。理事方針の「広げよう　ワイズの仲間」をユース事業を通じて目指していきます。

前年度の「部の強化・活性化」も引き続き目標といたします。部主催のユース育成事業に対して、5万円を上限として、支援を実施します。計画書を10月末までにご提出いただき、3月末までに実施いただきます。4月末までにご報告いただいた時点で支援金を給付いたします。

理事スローガンの「楽しくなければ　ワイズじゃない　積極参加で実りある奉仕」を推進し、結果として会員増強の実現のために、各クラブでの検討をお願いします。クラブの事業や例会プログラムにユースとの交流や、協働する事を取り入れていただきたいと思います。ユースと関わることにより、より楽しいクラブライフが実現し、クラブの活性化につながると思います。

従来通り区主催のユース・ボランティア・リーダーズ・フォーラム、オープン・フォーラム・Y、国際・ユース・コンボケーションへの派遣の三事業を推進して参ります。特にユース・ボランティア・リーダーズ・フォーラムではYMCAのユースリーダー達と直接関る事の出来る貴重な機会です。

多数のメンに参加いただきたいと思います。皆様のご理解、ご支援をお願いいたします。

思いやりの心で地域に奉仕

地域奉仕事業主任
前原末子(御殿場)

この度、栗本理事の下、地域奉仕事業主任を拝命されました前原末子と申します。

ワイズではまだまだ若輩者で、今は重責感でいっぱいですが先輩方の意見を拝聴し、そして栗本理事のスローガン〈.楽しくなければワイズじゃない積極参加で実りある奉仕〉の心意気で頑張らせて戴く所存です。

一年間何卒宜しくお願い申し上げます。

今年度の目標としては、YMCA と協力して地域社会の求めに答える奉仕の実践に心がけましょう

1.一クラブ一事業の推進　地域へのアピール、他クラブへの参加・協力
2.新しい CS プログラムの開発を図ろう
3.地域における知名度を高める。CS 事業を推進し、(入会したいクラブ)を目指す
4.クラブ対抗、フォトコンテストの継続

活動の主体は、それぞれのクラブです。各クラブがより豊かな活動を進めることや、クラブ間の連帯・交流を深めること等が、地域事業奉仕に繋がることと思います。ワイズメンズクラブを地域社会にもっと知って戴くこと、アピールも大切なものだと感じます。各クラブの特徴を生かした活動・運動無理をせず小さなことからでも長く続けられること、一人一人が強い義務感を持ち、思いやりの地域奉仕が存続することを願っております。

〈自分を愛するように隣人を愛そう〉人としての基本です。争いのない社会思いやりの心をもって地域社会に奉仕していきたいものです。

「会員増強　ＮＥＯワイズメンズクラブ」

会員増強事業主任
榎本　博（伊東）

今年度、栗本理事の下で会員増強事業主任という大役を仰せつかりました榎本博と申します。理事主題である『**広げよう、ワイズの仲間**』英語表示ではそのものズバリ『**Ｅ・Ｍ・Ｃ**』この意味を理解し、皆様と「**会員増強**」というキーワードを共有し、各クラブが円滑に活動できるよう 1 人でも多くの（理解者）を獲得できるような会員増強を展開していきたく思います。理事目標の一つである、各部にエクステンション委員会設置では、所属の富士山部においてモデルとなる様な委員会を立ち上げられるよう、富士山部部長・会員増強事業主査・各クラブと連携し推めていきます。会員増強事業の主題と致しまして「**ＮＥＯワイズメンズクラブ**」とは今までにあった物の新しい形を意味します。会員獲得の為に一ひねりアイデアを加えて頂きたく思います。例えば女性会員。

【事業目標】

１．Ｅ（クラブ拡張）①部にエクステンション委員会を設置する（複数年で取り組む体制）②新クラブ設立を目指す。**２．Ｍ**（会員増強）①各クラブ純増 2 名以上②グッドスタンディング（会員数 15 名)を目指す③インビテーション キャンペーンの実施**３．Ｃ**（維持啓発）①クラブの刷新と柔軟性②早期退会者ゼロを目指す③ノンドロップを目指す。

【表彰基準】対象期間：2017/5/1(月)～2018/4/30(月)

１．Ｅ部門①新クラブ設立賞：年度内にチャーターしたクラブのスポンサークラブ**２．Ｍ部門**①最優秀賞：最も多くの新入会員を獲得したクラブ②優 秀 賞：最優秀クラブに次ぐ新入会員を獲得したクラブ③努 力 賞：2 名以上の新入会員を獲得したクラブ④インビテーション優秀賞：最も多くのポイントを獲得したクラブと個人**３．Ｃ部門**①出席率最優秀賞：例会への出席率が 100%もしくは最も高出席率のクラブ②出席率優秀賞：例会への出席率が 90%以上のクラブ③ノンドロップ賞：期間中の退会者ゼロのクラブ④グッドスタンディング賞：会員数 15 名以上を達成したクラブ**４．特別賞**①EMC 事業に積極的に取り組み、成果を収めた部やクラブまたは個人

北海道部部長方針

北海道部部長
森熊治郎（札幌北）

北海道部長主題は「ＥＭＣの強化」副題は“生き生き、楽しく、元気に„としました。会員減少の続く中で今一番問われている会員増強を、いかに行うかに苦しみ､悩んでいるところであります。

今迄の考え方法ではこの問題解決しないのだなあとの思いを強くしております。そうは言っても会員増強は一寫千里（一気呵成）には解決しない課題であります。１～３年掛けて従来のやり方を反省し、新しい方策を会員全員で考え、取り組んで行かなければと覚悟をしておるところであります。東山荘での研修会でも、その時のパネルデスカッションでも「ＥＭＣ」でした。４月の川越市伊佐沼での役員会でも会員増強が強く話されました。

３年前に札幌クラブの６０周年記念会の講演でも藤井元国際会長が「ワイズの未来はある？ない？」とのテーマでした。藤井さんが各クラブを訪問した時によく聞かれたのは､「ワイズは将来どうなるんですかネ」との質問だそうです。

この現実を我々は見過ごす訳には行かない時期に来ておると思います。この東日本区が課題として盛り上がっている時期に、一気呵成に行かないまでも全会員一人ひとりが、実行に移す心構えを強く持つ必要に迫られていると思います。例会を充実して行く、例会の活性化、高い出席率への努力特色あるクラブ活動を行う、奉仕活動の掘り起こし､青年へのアプローチ.婦人へのアプローチ、定年退職者へのアプロ―チ、ＹＭＣＡ関連との提携（ＹＭＣＡ・ＯＢ､元リーダーへのアプローチ、幼稚園父兄、ＹＭＣＡプログラム関係者へのアプローチ等々）。

いずれにしろクラブの明るい楽しい雰囲気つくりといった日常的な事柄をもう一度見直し、掘り起しが重要だと考えます｡過去は変えられません。しかし我々はこうしたいと言う思いを実行して行くしかないものと思います。

北東部部長方針

北東部長
鈴木伊知郎（宇都宮東）

部長主題は“距離に負けるな北東部、各クラブの個性を磨きましょう”

（１）YMCA を支えよう

（２）各クラブ個性を磨こう各クラブは独立した存在です。それぞれのクラブが地域や YMCA を支えるボランティア活動を行っています。それは地域やメンバーの特色を活かした活動になっています。

北東部の各クラブはとても個性の強いクラブが集まっていると思います。各クラブの個性をプラスと考え、ユニークなクラブ活動を今後も推進して、クラブの活性化に繋がればと思います。

（３）北東部内のクラブと合同例会を
～距離に負けるな北東部～

北東部は南北に 600 ㎞あまりのエリアにクラブが点在しています。一時は部を分割しようとの協議が行われた経緯もありました。しかし､「われら北東部」という歌のとおり一丸となって歩みたいと思います。

そのためには、ふだんの合同例会は近隣のクラブと行うのが多くなっていますが、今まで合同例会を行っていなかったクラブとの交わりを計っていきたいと思います。とくに宮城岩手エリアと北関東エリアのクラブは距離が離れていますが、各クラブの個性を活かし、互いのクラブの活動を理解する観光も兼ねた楽しい合同例会が行われることを望みます。

（４）幅広い人を支えよう

今期は栗本理事の主たる方針は、会員増強とエクステンションです。エクステンション実行委員会を立ち上げ、エクステンションの方向性と会員増強にも励んで参ります。

部会予定　９月９日（土）
栃木県宇都宮市　宇都宮グランドホテル

クラブと関東東部の活性化を図ろう

関東東部
長尾昌男（千葉）

私のワイズとの出会いは、東京での同郷の会（東京明石会）に参加したのが縁で、ある先輩に誘われ1996年9月千葉クラブに入会しました。神戸市出身なのですが明石市内の高校に通ったことから明石にゆかりのある人達の千葉でのゴルフコンペに参加したことが縁の始まりでした。YMCAとの出会いはなく小学校の最後の夏休みに学校から「井の中の蛙を池に捨ててきなさい」とキャンプに送り出されたことを今でも記憶しております。これが神戸YMCAのキャンプだったのではと思ったりもします。

入会後は、会社勤めの傍ら千葉YMCAとワイズそして前述の同郷の会などの奉仕をさせて頂き、クラブ会長3回、部役員4度を経験、千葉YMCA常議員・チャリティーランの実行委員長も務めさせて頂きました。

さてこの度、第21代目の関東東部部長をお引き受けすることになり、部長主題を「義務を果たして、クラブと関東東部の活性化を図ろう」とさせて頂き、活動方針は『明日のワイズメンズクラブのためには、クラブの活性化が必要です。そのためには、ワイズの信条にある「義務を果たしてこそ、権利が生ずることを悟ろう」を覚え、クラブの活性化につながる行動をしましょう。そして、クラブ間の連携を更に強め、関東東部の活動強化と活性化を図る。』としました。

第21回の部会は、9月30日千葉市美術館の鞘堂ホールです。この時期の展覧会は「ボストン美術館浮世絵名品展」のようです。千葉の地の美術館で芸術の秋も感じて頂ければと思います。

皆様、関東東部をよろしくお願い致します。

部長主題　「Ｅ人(イーヒト)になろう！」

東新部部長
伊藤幾夫(東京多摩みなみ)

今期の部長主題として「Ｅ人(イーヒト)になろう！」を掲げました。「Ｅ人(イーヒト)」とは、「ＥＭＣを重点課題と感じている人」とでも定義したいと思います。高齢化、減少化というワイズの現状で、これからのワイズを見据えたとき、エクステンション(子クラブ作り)と会員増強は喫緊の課題であると考えます。今期はとくに、ＥＭＣにエネルギーを注ぎたいと思います。私たちは、ワイズメンであることに誇りと喜びを持っています。そのワイズメンの基盤となるのは各クラブであることは言を待ちません。私たちはワイズメン同士の交わり、奉仕活動を通してワイズの良さを日々感じています。このことをもっと広め、ワイズの仲間を増やしていきましょう。そのことが、地域奉仕活動の充実、ユースを積極的に巻き込む機会、ＹＭＣＡ支援につながっていくと考えます。どうぞこの１年よろしくお願いいたします。

具体的取組み重点課題として、

１．ＥＭＣの取り組み
部内にエクステンション委員会を設置し、部内各クラブと連携をとりながら、具体的な課題に対して方策を講じていきたい。

２．ＣＳ／Ｙサ活動への取組み支援
ＣＳ活動、ＹＭＣＡイベントを通して、ユースを巻き込む機会としたい。

３．国際・交流事業への支援
昨年度のＲＢＭ(ロールバックマラリア)事業の成功を引き継いで、実績を継続したい。

４．ユース事業の支援
各クラブの例会､部大会などに積極的にユースを巻き込んでいきたい。

５．東新部20周年記念誌の発行

《当面の行事予定》

第1回評議会　7月15日(土)13:30～16:00
東京ＹＭＣＡ山手センター

第21回部大会　10月14日(土)13:00～17:00
東京YMCA社会体育・保育専門学校

楽しもうよ・仲間とともに

あずさ部部長
大野貞次（東京西）

頼まれたら断るな、のワイズ精神があるからと押しだされ戸惑いながら引き受けることになりました。大変です、それならばあずさ部の皆様と共にこの一年楽しいワイスライフ送りたいと思うものです。皆さまのお力を貸して頂きながら、クラブ・部・区の活動に少しで役に立つことを進めることができれば幸いです。あずさ部は明るく和気あいあいと活動している事が何よりです。又あずさ部に属しているクラブの活動は地域ごとに特徴を持ち活動をしてきています継続し頑張って頂きたい。しかしながらクラブ間の力の差が見えるこの頃ではないでしょうか。ひとつは会員増強が叫ばれて久しいのですがなかなか進まないのが現状です、

持てる力の違い・メンバーの減少・高齢化等によりなかなか会員増強に結び付かない一クラブではなし得ない昨今です。でも各クラブ間の協力によってなし得ることもあるのではないでしょうか。互いに協力して頑張って見ましょう。又それぞれ課題はあるでしょうがより良い方向へ一歩でも前に進めて行きましょう。

私には何も力はありませんが身体を動かし事は出来ますので各クラブの訪問を多く行い皆さまと交流することを頑張りそこで各クラブの課題を聞かせて頂き解決することが出来るとは思いませんが悩んでみたいと考えています。又部会・評議会を通して多くの会員と交流し学び・楽しみ・会員の増強・新しいクラブ創設等の力になればと思っております。

皆さまよろしくご指導お願い致します。

「ワイズの絆を強め、広げよう」

湘南・沖縄部部長
金子　功（横浜）

部長を引き受けることになって最初に取り組んだことは、部長の主題（モットー）を決めることでした。「ワイズの絆を強め、広げよう」が頭に浮かんだ背景は、ワイズダムという枠組みの中で、ワイズの信条にうたわれる共通の理念を持った仲間たちに加わればおのずと良き友に出会う機会に恵まれ、クラブ活動が楽しくなるという発想からでした。私のワイズ歴は丁度１０年、決して長い方ではありません。しかしその間に学んだことは、「同じ釜の飯を食った」学生時代、或いは長いサラリーマン時代の友人関係ではなくても、ワイズメンになったことで喜びを分かち合える仲間との良き出会いがあり、絆を結ぶことができるということでした。ＹＭＣＡ運動を理解し、支援する方法はいろいろあります。レイパーソンとして奉仕活動に参加することはＹＭＣＡにとっても貴重であり、参加するものにとっても有意義な奉仕活動の場です。私自身、常議員、運営委員、事業委員、各種実行委員等として、ワイズ歴よりはるかに長い期間ＹＭＣＡに関わらせていただき多くの経験をさせて頂きました。しかし、ワイズメンになって、ハタと気が付いたことは、ＹＭＣＡに対して同じ支援活動をするにしてもワイズメンの場合には仲間がいることでした。ＹＭＣＡと個人が一本の糸で結ばれているのではなく、ＹＭＣＡとワイズメンズクラブと言うより太いパイプで結ばれた関係の中にあることでした。共通の理念を持った者同士が、同じ目的のために汗を流せば仲間同士の絆も深まり、より楽しいクラブ活動が実現できると思うようになりました。

今年度の栗本治郎理事の主題は、ズバリ「ＥＭＣ」であり、スローガンは「楽しくなければワイズじゃない」です。ワイズライフが楽しければ知人を誘い、ＥＭＣにもつながることでしょう。ワイズの楽しさは思いがけない出会いであり、人と人との交わりであり、繋がりだと思います。今年は湘南・沖縄部の各クラブメンバーがクラブの枠を超えて親しい交流を深める年にしたいと思っています。

区から部へ

富士山部長
加藤　博（熱海グローリー）

「区から部へ」と３年目、富士山部の主題は「生き活き仲良し富士山倶楽部」
Lovely&Young at heart, Fujisan clubs、
スローガンは、「自分を愛するように隣人を愛そう」Love your neighbors as you love yourself と致しました。活動方針は「熟議して、事情を一致させ、解決するまで徹底協議する」としました。激動の時代です。あえて、人間特有の様々なわだかまりを解決する、地廻り役の復権を目指したいと思います。まずは個々の意見の明確化と状況共有を実現し、飛躍への土台とします。隣人への気配りを出発点とし、妥協や逃げでの先送りを回避する習慣をつけたいと思います。

重点目標として、ＹＭＣＡ強化、富士山部メンバーだけで構成する、新生熱海ＹＭＣＡは、熱海から静岡へ意識を拡大、Ｃ色は控え目にし、スローガンの強力な実践を成し遂げます。またＥ・Ｍ・Ｃを強く推進します。Ｅとしては、栗本理事の肝入り、部にエクステンション委員会を新設し、新クラブの設立準備に入ります。Ｍ・Ｃとしては、各クラブ各メンバーを強力に刺激していきます。ドロップに対して徹底的に自らを検証していきます。

女性目線強化による新クラブ体制確立（新規融合　分割　掘り起し等）も推進致します。また、各クラブの魅力アップとして、高齢者の居場所としての魅力確立や、青少年親(母)子支援のアピールでの魅力を確立し、親の加入を促す、更には婚活支援としての魅力確立から親を造成、そして子供増勢へと一貫して導く道、結果として女性の居場所としての魅力あるクラブづくりを模索・確立していきたいと思います。

地域アピールの目玉として静岡チャリティランの開催や竹内敏郎記念奨学金(仮称)設立も検討し、部のファンド基盤整備もしていけたらと考えています。

理事書記として全力疾走!

書記
大川貴久(熱海)

栗本理事の元、東日本区書記及び広報・伝達(PR)委員を拝命致しました。

東日本区定款を遵守し理事の主題「広げようワイズの仲間」、スローガン」「楽しくなければワイズじゃない　積極参加で実りある奉仕」の旗の元、東日本区の運営のお手伝いをさせて頂ければと思います。

今の東日本区に特に必要なものは、栗本理事の掲げる「EMC」であると感じますので、これらを楽しく、区全域に浸透させていただき、未来へと前進できればと思います。

皆様には各種原稿執筆のお願い、各種会議、催物開催、参加等へのご回答等、期間を区切ってお願いするとこも多くお手を煩わせることも多々あると思われますが、そっと片目をつぶってご協力いただければ幸いです。

東日本区会計からご挨拶とお願い

会計
小原進一(熱海)

会計職の依頼を受けて大役に緊張しつつも、熱海クラブに入会以来お世話になっていた栗本理事へ多少でもお役に立てることを喜んでおります。

準備期間で感じたことは、メンバーの減少が区の財政へ大きく影響することです。理事主題に従い仲間を広げる活動を是非お願いいたします。

また、後期の区費・献金の方法が変わって３年目となりますが、まだまだ混乱が見られます。小山東日本区事務所職員と連携を密にして情報発信をいたしますので、各部・各クラブにおかれましては、期限内の集金・納付をお願いいたします。

１年間皆様のご協力をお願い申し上げます。

「日本区監事二期目にあたり」

監事
久保田貞視
（東京八王子）

今期は監事の任期２年の後半にあたります。監事の職務は財務監査と行政監査がありますが、財務監査は会計監査で収支が正しく記帳され、残高が諸表間で合致していることが肝心です。

一方、行政監査は、東日本区ワイズメンズ活動が、いわゆるＮＰＯの評価基準に沿う形で、市民性、社会変革性、組織安定性の観点及び、ミッションに基づいて展開されているかを観ることと役員のガバナンスへの意見を述べることと思います。監事としての能力は未熟ですが、出来るだけ役員を支援し、ワイズ活動を活性化させるよう努力しますのでご協力のほどお願いいたします。

光の中を歩めるように

文献・組織検討委員会委員長
利根川　恵子（川越）

宮内友弥委員長の後を受け、重責を果たすこととなりました。甚だ不安ではありますが、お引き受けした以上は、全力で務める覚悟でございますので、ご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

さて本委員会は、理事からの諮問に対する答申とともに、組織に関する討議・提案を行い、東日本区の発展に寄与することが大きな役目となっています。前年度末に本委員会は「会員増強に関する提案」と「文書化したい口伝および用語」についての答申書を理事に提出いたしました。会員数の減少や会員の高齢化など、東日本区が直面する困難に対して、提案と答申書というかたちで光を与えてくださいました。従いまして、本年度はまずその内容が適切に実施されるよう、フォローすることを目標といたします。

東日本区の活性化と発展のために、本委員会が光の中を歩み目標が達成できますよう、みなさまのご支援、ご協力を再度お願い申し上げます。

今年度のＬＴ委員会としての活動について

ＬＴ委員長
北村文雄（町田）

今、ワイズにとって最も重要なことは会員増強である。全てのワイズメンが会員の減少と高齢化は強く認識している。であるが、その効果的な方策を見出せず、歯止めが掛からない状態が続いている。そんななかで、ワイズとしての健全なクラブ活動を推進している熱海クラブで中心的な立場におられる栗本ワイズが今年度区理事として就任した。掲げた主題が「広げよう　ワイズの仲間」並々ならぬ覚悟での就任である。奉仕クラブにとっては会員増強が最大目標であってはならない。本当の目標は別にある。しかし強力な組織があってこそ健全なクラブ活動、奉仕活動が成し得る。今年度のＬＴ委員会は、従来の次期研修会開催とともに、年間を通し、メンバー個々の意識向上を図り、魅力あるワイズメンズクラブとは何かを原点に立ち返り検討し、理事の推進する「Ｅ・Ｍ・Ｃ」また、部の強化、活性化に対してのＬＴとしてのサポートに積極的に取り組みたい。

東日本区定款改訂委員会

委員長　辻　剛

区定款改訂委員会委員長・辻剛です。昨年度に引き続き大役を務めさせていただきますので、よろしくお願いたします。第 4 回委員会にて最終改訂案および定款前文案を策定し、利根川理事（当時）に答申しました。第 3 回区役員会にて承認をいただき、昨年度末の年次代議員会でも承認をいただきました（当代議員会の承認については、執筆時では希望的観測）。最初のハードルをクリアーできたことになり、ご協力いただいた各委員、各部、各クラブの皆様に対しまして厚く御礼申し上げます。本年度は早い段階で臨時代議員会（郵便投票による）を開催し 2 回目の承認を頂きたいと考えております。その後は英訳作業を行うなど、国際議会の承認を得るための準備を進め、2018 年 8 月の国際議会に提出し承認を得て初めて発効になります。

忘れてはならないあの日のことを！

東日本区大震災支援
対策本部長
栗本治郎（熱海）

２０１１年３月１１日から６年が経ちました。然しながら、原発問題を初めまだまだ問題は山積です。

この間、昨年チャーターされた石巻広域クラブを含む被災地域のクラブの長期間の奉仕に、心より感謝申し上げます。

被災地以外からも、被災地を訪問し支援活動を続けるクラブが多々あり感謝しております。

また､昨年は熊本でも震度７の大地震が連発し、甚大な被害にあいました。熊本 YMCA の施設も被災いたしましたが、地域のワイズと共に支援活動をされております様子に YMCA･ワイズに籍を置くものとして感銘し誇りを感じます。

昨年度、支援活動補助金につきまして、乏しい財源の中で規定を若干見直し、引き続き現実的な補助をして行くことになりました。忘れてはならないあの日のことを！募金につきましても一層のご支援ご協力をお願い致します。

永年の奉仕に感謝して！

奈良傳賞選考委員会委員長
栗本治郎（熱海）

奈良傳賞とは、ワイズダム発展に尽力し、その功績が認められた会員に与えられる賞である。受賞者の条件として、ワイズメンズクラブ及び YMCA の会員歴が３０年を経過した６０歳以上の会員で、その働きがワイズメンの規範とするに相応しい者であることとある。ワイズダムに熱心な会員は多数いますが、３０年という永きにわたり献身的に奉仕活動を続けられている方は、９００名を超える会員の中でもほんの一握りの方に限られます。この名誉ある賞を選考するに当たりましては、推薦理由だけでなく、広く情報を集めて皆様に納得される方を選考したいと思います。なお、推薦理由、ワイズ・YMCA 歴につきましては、出来るだけ詳細に報告頂ければ幸いです。

ＩＴアドバイザーをお受けして

ＩＴアドバイザー
大久保 知 宏（宇都宮）

ＩＴアドバイザー二年目を務めます宇都宮クラブの大久保です。昨期は従来のウエブサイトを引き継ぐことを目的として、見た目は変わりましたが、従来のページの構成をそのままにウエブサイトを運営してまいりました。

今期は情報へより早くたどり着けるような工夫を加えていきます。広報・伝達専任委員と連携しながら、一定の掲載基準を設け、従来掲載をしてこなかったクラブニュース、個人アピールなどの掲載を検討してまいります。

また、昨期に引き続き、情報発信について支援を継続していきます。よろしくお願いします。

HP http://ys-east.jimdo.com/

東日本区 21 年にあたり

東日本区ヒストリアン
仙洞田 安宏（甲府）

ワイズダムは、ほとんどの役員の任期は１年ですが、近年、区の事業主任や部長職へ再登板するケースがあります。クラブ会長は更にこの傾向が顕著です。このことの是非の議論は別として、このような現象の原因は、会員の減少と高齢化、そして多岐にわたる活動が、忙しい現代人には繁雑となっていることからでしょうか。ここ数年、ヒストリアンとしてワイズダムを見つめて来て、奉仕団体の組織や人事について考えることが多々ありました。歴史的にみて、組織と運動の関係はどうであったのか、今後はどうあるべきなのか、東日本区の 21 年目を迎えるにあたり興味深いところです。

トラベルコーディネーターとして

トラベルコーディネーター
長 澤 山 泰（東　京）

今年度はまだＢＦ代表の来日の予定は立っていませんが、昨年度同様、ＢＦ代表来日の際はご協力をお願い致します。

信頼される「東日本区」に向けて

監事　鈴木　茂

今般、東日本区監事に選任されました横浜つづきクラブの鈴木　茂と申します。これまで湘南・沖縄部長や東日本区・会員増強事業主任等のお役を拝命したことはありましたが、「東日本区監事」という恐ろしいお役に就くことは、想像したこともありませんでしたので、ただ戸惑っているばかりです。しかし、監事をお引き受けした以上は、東日本区の健全な発展のために、さらには日本のワイズ運動の一層の広がりと YMCA と社会への貢献のために、微力ながらその職務を全うしたいと考えています。何よりも、全ワイズメンから信頼される東日本区の形成にお役に立てればと願っています。先輩監事の久保田貞視さんの教えを受けながら、頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

ＹＭＣＡ報告

連絡主事　光永尚生

今年度の、東日本区連絡主事の光永です。一年間皆様にはお世話になりますが宜しくお願い申しあげます。連絡主事として、理事事務局の皆様とはもちろんのことですが、四ツ谷の事務所とも可能なかぎり連携ができるように「架け橋」を目指し担当させていただきたく思っております。また、各部やクラブの皆様とも交わりを通した交流を深めつつ、地域 YMCA との連携も進めたく思います。

2017 年度は､YMCA のブランディング元年ともいうべき１年であり、利根川理事期から栗本理事期への繋がりを大切にしながら、大きな一歩を歩むことができれば幸いです。

全国の YMCA が、オールジャパン YMCA として歩んでまいりますが、共に歩んでいただきながらお支えをいただきたくお願い申し上げます。

栗本理事をフルサポート！

東日本区理事事務局長
札埜慶一（熱海）

原子力空母 「KURIMOTO」が最新鋭の EMC ステルス機と EMC ステルスミサイルを満載し東日本区に出撃いたしました。各部で EMC ステルスミサイルを発射しながら AWC で効果を図りながら前進して行きます。

熱海クラブ 50 周年記念時の会長以来の理事事務局長という大役で、少々ビビッておりますが、私の役目としては、EMC ミサイルを原子力空母「KURIMOTO」に絶え間なく補給し安全航海を祈って栗本理事を支えていくことと認識しております。これで会員増強できなければ 10 年後にはワイズは恐竜のようになっていることと思います。東日本区の皆様、そしてキャビネットの大川書記、青木副事務局長、小原会計、栗本恵理子メネット等皆様のお力を借りながら前進して行きたいと思います。若輩者で何かと不行き届きの点が多々ありますが、皆様のご指導ご鞭撻をお願いしご挨拶とさせていただきます。

東日本区理事事務局補佐を拝命して

東日本区理事事務局長補佐
青木義美（熱海）

今年２月に他界された故竹内敏朗氏が１９７９年に日本区理事に就任されて以来３８年ぶりの熱海クラブからの理事輩出に個人的にも感動をしている時に東日本区理事事務局長補佐の声がかかり微力ではありますがこの役をお受けしました。

じろうちゃん（栗本氏のニックネーム）がよく理事を受けてくれた！！歴代理事に勝るとも劣らない熱意の持ち主であるので皆さんの応援を熱く熱くお願いするばかりです。

更に彼の腹心に大川書記、恵理子メネット、小原会計、そして私のボス理事事務局長札埜氏とホームクラブに申し訳ないほど一線級のスタッフをこちらに回させて頂いたので２０１７～１８年はワイズ始まって以来の感動の１年間を保証します。

2017-2018年度　東日本区予算（案）

会員数前期950名後期980名　　1CHF115円　1＄115円として（3月7日現在為替CHF113円、＄114円）

項　目		2017-18予算	参　考		算　出　根　拠
			2016-17予算	2015-16決算	
収入の部					906*7500+936*7500+44*4000
	東日本区費	**13,991,000**	13,841,000	13,175,500	会員数前期950名・後期980名（主事44名含む）
	ハンドブック＆ロースター	**1,517,500**	1,462,000	1,519,000	1,700円×820冊 + 1,900円×65冊
	入会金	**540,000**	240,000	432,000	入会者90名×6000円
	物品売上	**150,000**	150,000	148,295	ワイズ読本等
	国際加盟金	**40,000**	40,000	46,000	2万円×2クラブ
	ワイズメンズワールド補助金	**109,250**	105,800	112,753	950名×1CHF×115円
	受取利息			2,135	
	雑収入	**0**	115,200	200,087	SDS基金(2016年度)
収入の部小計		**16,347,750**	15,954,000	15,635,770	
前期繰越金		**3,028,197**	2,998,972	2,995,642	
合　　計		**19,375,947**	18,952,972	18,631,412	

支出の部					
	国際会費	**3,884,125**	3,843,875	3,888,546	950名×17.5CHF×115円+980名×17.5CHF×115円
	アジア太平洋地域会費	**665,850**	660,100	432,998	950名×$3×115円+980名×＄3×115円
	アジア地域災害緊急支援金	**218,500**	218,500	222,667	950名×$2×115円
	国際加盟金	**46,000**	46,000	44,884	200CHF×2クラブ×115円
	ヤングメンバー補助金	**160,000**	0	199,500	20名×8,000円（39歳以下の会員に区大会の登録費の半額補助）
	東日本区大会負担金	**475,000**	475,000	451,000	500円×950名
	東日本区事務所費(人件費)	**1,000,000**	1,000,000	1,000,000	
	（家賃）	**1,200,000**	1,200,000	1,200,000	
	会議費	**100,000**	100,000	36,179	飲物代
	旅費・交通費	**2,050,000**	2,050,000	1,683,440	委員会・役員会、部研修会LT委員旅費
	区・事業費	**1,200,000**	1,315,000	1,009,424	メネット活動費、区大会招待費・表彰、e-ﾗｰﾆﾝｸﾞ準備費用を含む
	部・事業費	**1,175,000**	985,000	970,600	部当たり10万×7部＋500円×950名
	事務通信費	**400,000**	400,000	414,297	プロバイダー料、電話料、送料
	宣伝印刷費	**450,000**	450,000	392,970	区報印刷費2回分、ワイズメンズワールド
	コピー機カウンターチャージ	**400,000**	500,000	347,255	リース料含む
	ロースター	**1,462,000**	1,366,000	1,495,368	1,500円×900冊　+　1,600円×70冊
	消耗品・事務用品費	**100,000**	100,000	77,793	
	EMC物品費	**570,000**	370,000	359,022	新入会員キット（1名当たり4,000円）90名、2ｸﾗﾌﾞ分ｷﾞｬﾍﾞﾙ他(1ｸﾗﾌﾞ105,000円)
	慶弔費	**50,000**	50,000	27,584	弔電、祝電
	銀行手数料	**35,000**	35,000	25,882	
	雑費	**100,000**	150,000	0	
	予備費	**100,000**	170,300	0	
	活動費補助 理事/次期理事/直前理事	**80,000**	80,000	80,000	理事4万、次期理事2万、直前理事2万
	書記/会計	**40,000**	40,000	40,000	2万×２
	事業主任	**80,000**	80,000	80,000	2万×４
	部長	**140,000**	140,000	140,000	2万×７
	委員長/専任委員	**70,000**	70,000	50,000	1万×７
	監事	**20,000**	20,000	20,000	1万×２
	理事事務局	**10,000**	10,000	20,000	1万×１
支出の部小計		**16,281,475**	15,924,775	14,709,409	
次期繰越金		**3,094,472**	3,028,197	3,922,003	
合　　計		**19,375,947**	18,952,972	18,631,412	

単年度収支	**66,275**	29,225	926,361	

2017-18年度　東日本区行事予定表

年	月	強調月間	東日本区行事・報告・送金		各部・西日本区等		国際・YMCA	
2017	7	キックオフ	8	第１回役員会			19-23	アジアユースコンボケーション
		YMCAサービス	10	各クラブ前期半年報提出(部長へ)				（チェンマイ）
		ASF	15	部長は半年報を纏め、			21-23	アジア太平洋地域大会
		RBM		会員増強主任へ				（チェンマイ）
							21	アジア太平洋地域議会
			31迄	前期区費請求書発送				（チェンマイ）
	8	CS	15	前期区費納期			10	国際半年報
					19	北海道部部会		
	9	ユース	8-10	ユースボランティア・リーダーズフォーラム	9	北東部部会		国際議員推薦
								国際会長候補者推薦
					16	湘南・沖縄部部会		
					24	富士山部部会		
					30	関東東部部会		
	10	EMC/E						
		YES			14	東新部部会		
					21	あずさ部部会		
			28	次期部長・事業主任研修会				
	11	ワイズ理解	4	第2回役員会				
		ファミリーファスト	10	ワイズデー				
	12	EMC/MC	8	祈りの輪			1-3	アジア太平洋地域・韓国地域合同
								RDEトレーニング
								（チェジュ）
							3-4	アジア太平洋地域年央会議
								（チェジュ）
								国際役員投票
2018	1	IBC/DBC	10	各クラブ後期半年報提出(部長へ)			15	国際役員投票スイス必着
			15	部長は半年報を纏め、				
				会員増強主任へ				
			31迄	後期区費請求書発送				
	2	TOF	15	後期区費納期			10	国際半年報
			15	各種献金納期(クラブから部へ)				
			28	各種献金納期(部から区へ)				
	3	BF	3-4	次期クラブ会長・部役員研修会				
		メネット	9	代議員会告示				
	4	LT	6	代議員会議案締切				国際半年報
			7-8	第３回役員会	21	東西理事連絡会議		
	5	EF/JEF	1	代議員会議案送付				
			15	JEF ｴﾝﾄﾘｰ締切				
	6	評価	1	第４回役員会（沼津）				
			2	代議員会（沼津）				
			2-3	第21回東日本区大会 （沼津）				日本YMCA同盟協議会
					9-10	西日本区大会(神戸)		

2017-2018 東日本区役員及び委員長等一覧

		役　職　名	氏　名	クラブ名
東日本区役員	常任役員	理事	栗本　治郎	熱海
		次期理事	宮内　友弥	東京武蔵野多摩
		直前理事	利根川　恵子	川越
		書記	大川　貴久	熱海
		会計	小原　進一	熱海
	事業主任	地域奉仕事業主任	前原　末子	御殿場
		会員増強事業主任	榎本　　博	伊東
		国際・交流事業主任	進藤　重光	東京
		ユース事業主任	長津　　徹	東京サンライズ
	部長	北海道部部長	森　熊治郎	札幌北
		北東部部長	鈴木　伊知郎	宇都宮東
		関東東部部長	長尾　昌男	千葉
		東新部部長	伊藤　幾夫	東京多摩みなみ
		あずさ部部長	大野　貞次	東京西
		湘南・沖縄部部長	金子　　功	横浜
		富士山部部長	加藤　　博	熱海グローリー
監事		監事	久保田　貞視	東京八王子
		監事	鈴木　　茂	横浜つづき
委員長	常置委員会	文献・組織検討委員会委員長	利根川　恵子	川越
		LT委員長	北村　文雄	厚木
		東日本区ワイズ基金運営委員会委員	村杉　克己	東京北
		東日本区奈良傳賞選考委員会委員長	栗本　治郎	熱海
	事業委員会	地域奉仕事業委員会委員長	前原　末子	御殿場
		ＥＭＣ事業委員会委員長	榎本　　博	伊東
		国際・交流事業委員会委員長	進藤　重光	東京
		ユース事業委員会委員長	長津　徹	東京サンライズ
	ワイズメネット委員会	メネット委員会委員長	大村　知子	三島
	特別委員会	東日本大震災支援対策本部本部長	栗本　治郎	熱海
		東日本区事務所人事委員会委員長	宮内　友弥	東京武蔵野多摩
		東日本区定款改訂委員会	辻　　剛	横浜つづき
専任委員等		ヒストリアン	仙洞田　安宏	甲府
		ＩＴアドバイザー	大久保　知宏	宇都宮
		トラベルコーディネーター	長澤　山泰	東京
		広報・伝達（ＰＲ）専任委員	大川　貴久	熱海
理事事務局		理事事務局長	札埜　慶一	熱海
		理事事務局長補佐	青木　義美	熱海
東日本区事務所		東日本区事務所長	栗本　治郎	熱海
		東日本区事務所職員	小山　憲彦	東京サンライズ

THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
JAPAN EAST REGION 2017-2018

メネット報

Notes & News

国　際　会　長　「国境なき友情」“Friendship across the borders ”
アジア地域会長　「ワイズ運動を尊重しよう」“Respect Y's Movement”
東日本区理事　「広げよう ワイズの仲間」“Extension Membership & Conservation”

2017.07.01 発行　第１号通巻 58 号

メネットの絆を深め、ときめいて‼

ワイズメネット委員長 大村知子(三島)

私はずいぶん長い間、名ばかりメネットでしたが昨年メネット委員にスカウトされ、この度はメネット委員長を仰せ付かることになりました。今更シルバー世代の出番？と躊躇したのですが、メンの委員長が２年続いているので、メネットが委員長として運営することには意義があろうかと考え、大役をお引き受けした次第です。

東日本区メネット諸姉が 20 年間蓄積した知恵と力と熱い思いを 21 年目のワイズメネット会も受け継ぎ、委員の皆様と力を合わせてワイズ活動に寄与したいと思います。

今年度も国内および国際プロジェクト、メネットのつどいなどの事業を継続します。特に、15 年前から続けている YMCA 関連保育施設に絵本を贈る東日本区独自の事業は、要望する施設が年々増えているので皆様には浄財の献金に一層のご協力を賜りたくお願いを申し上げます。

メネットの数は女性メンバーの増加によって今後も減ると予測されます。それ故、メネットがこれまで担っていた「女性ならではの活動」というが独自性が薄れるクラブが多くなると考えます。そこで、メネットと女性メンバーとの協働による女性の視点や特性を生かした活動のあり方を模索します。併せて、ワイズの活動に企画からメネットも参画することも「女性の活躍促進」を唱える社会的ニーズにマッチし、若いメネットの共感も得られるのではないかと考えます。

メネット会が活発なクラブには一層の活躍をお願いします。メネット会のないクラブには、メンがメネットに月例会出席を積極的に誘っていただいてワイズに関する情報を共有し、メネット活動への関心を高めて下さることを期待します。

主題に掲げたように絆を深めワイズにときめき「できない理由を挙げるよりもできること探し」をモットーに、叡智を集めて進んで参ります。

皆様、ご協力ご支援をよろしくお願い致します。

ワイズメンズクラブ国際協会
第21回東日本区大会

日　　時：2018年6月2日(土)・3日(日)

会　　場：プラサヴェルデ

ホストクラブ：沼津ワイズメンズクラブ

協力クラブ：富士山部　各ワイズメンズクラブ

後　　援：沼津市・沼津商工会議所
静岡県東部地域コンベンションビューロー